

「未来の荒浜まちづくり」について

私たちはこれまで6年間にわたって防災の学習を続けてきました。そして6年間のまとめとして取り組んだのが今回の「未来の荒浜まちづくり」です。震災前，地域のつながりの強かった荒浜。自然が豊かな荒浜。それが震災で失われてしまいました。

私たち七郷小6年生は，荒浜の20年後，こんな荒浜になってほしいという思いを，エリアごとに話し合い，模型という形でまとめました。

まちづくりの視点

まちをつくっていく時には、山形大学の佐藤慎也先生から教わった、3つの視点を意識しました。

①人間的な視点

外国の方，障害のある方，お年寄り，赤ちゃんなどみんなが使いやすい仕組みやしかけになっているかを考えました。

②環境的な視点

荒浜の歴史や地域の良さを生かしたもののや，環境に配慮したものになっているかを意識して考えました。

③防災的な視点

自然災害，特に地震や津波が来た時を想定して考えました。

それに加え，国語「町の幸福論」で学習した，「コミュニティデザイン」人と人とをつなぐしかけも意識しました。

まちづくりの視点

Humanity
人間的な
視点

Universal
Design

Sustainability
環境的な
視点

Sustainable
Design

Safety
防災的な
視点

Safety
Design

人と人をつなぐしかけ Community Design

4つのエリア

1組・2組・3組それぞれが、

1. 荒浜小エリア

2. ぼうひろエリア

3. 貞山堀エリア

4. 深沼海岸エリア

の4つのエリアに分かれて模型を作りました。ぜひご覧ください。